

慶應義塾ニューヨーク学院(高等部)

Q&A

慶應義塾ニューヨーク学院(高等部)
3 College Road, Purchase, NY 10577
Website: www.keio.edu
お問い合わせ先: keiony@keio.edu

慶應義塾ニューヨーク学院(高等部)に関するQ&A

目 次

- ★ 学校生活について …… 1
 - ★ 寮生活・通学について …… 2
 - ★ 卒業後の進路について …… 3
 - ★ 出願資格について …… 4
 - ★ 入学試験について …… 5
 - ★ 出願書類について …… 8
 - ★ 学費について …… 10
 - ★ その他…… 10
-
- 資料 1 カリキュラム
 - 資料 2 成績の基準
 - 資料 3 課外活動
 - 資料 4 卒業後の進路
 - 資料 5 2012年度入試概要

慶應義塾ニューヨーク学院(高等部)に関するQ&A

★ 学校生活について

Q1 新学期開始はいつですか？

A. 慶應義塾ニューヨーク学院(以下、学院という)は9月に新学期が始まります。9月～1月までの前期と、2月～6月までの後期の2期制です。

Q2 学級数・生徒数はどのくらいですか？

A. 9学年(中3)2クラス、10～12学年(高1～高3)各学年4クラスです。1クラスの生徒数は約30人です。

<生徒数>

2011年度	9学年	10-12学年	合計
生徒数	36(13)名	302(138)名	338(151)名

* ()は女子で内数

2011年10月1日現在数

Q3 教職員はどのくらいいますか？

A.

<教職員数>

2011年6月1日現在

	常勤	非常勤	合計
教員	35 (17)	9 (6)	44
寮監	15 (9)	1	16
事務員	15 (13)	2 (2)	17
合計	65	12	77

* カッコ内は内数で日本語を母国語とする教職員数

* 教員と寮監の兼務は1名で教員欄計上

* 司書、保健師は事務員へ計上

Q4 授業は英語のみで行われるのですか？

A. 科目によって、英語と日本語の両方の授業があります。現在全科目のうち7割の科目が英語で行われています。また日英両語のいずれかが不十分な生徒に対しては、ESL(English as a Second Language) および Nihongo の授業が各生徒の語学能力向上のために設けられています。カリキュラムについては資料1をご参照ください。

Q5 日本からの入学生やAO入試の生徒が英語で行われる授業についていけるでしょうか。

A. 入学試験終了後から入学までには時間がありますので、英語または日本語の語学力の上達を図るにあたり適当な勉強をされることをお勧めいたします。合格後、学院カウンセラーが語学勉強を含めた入学までの準備についてアドバイスをさせていただくことも可能です。

Q6 生活面でどの程度の英会話力が必要なのですか？

A. 生徒のほとんどは日本人ですが、学院教職員の7割強はアメリカ人です。また、Q4にもあるように、7割の授業が英語で行われますので、日常的なコミュニケーションに支障がないレベルの英会話力は必要です。

Q7 日常生活において日本人同士が日本語で生活してしまうことで、英語力が伸びなくなるといったことはありませんか？

A. 寮生活全般に関して言える事ですが、親元を離れ寮生活をするにあたり、生徒の自立心および積極性が大切です。ほぼ全ての生徒が日本語を母国語としている現状で生活するため、積極的にスポーツや課外活動に参加し、現地校の生徒と接触する機会を増やす努力をする必要があります。また、現地校との文化交流など学院側でもそのような機会をなるべく多く提供しています。

Q8 標準的なカリキュラムがありますか？選択制、単位制が通常ですが、学年制で進むのが通常なのでしょうか？

A. 学年制で進みます。12学年では医学部、理工学部又は薬学部に進学を希望している生徒は理数系のコースを履修する必要があります。カリキュラム詳細は資料1をご参照ください。

Q9 成績はどのような基準になっているのでしょうか？

A. 資料2をご参照ください。

Q10 課外活動にはどのような活動がありますか？

A. 生徒の80%強が運動部に所属しています。(資料3を参照してください。)生徒会、寮委員会の他に、文化交流委員会(現地校訪問などを企画)、福澤諭吉研究会、茶道部、ロックバンド部、ボランティア部、釣部、写真部、ダンス部、放送部、コーラス部、オーケストラ部、ブラスバンド部、など多数のクラブまたは委員会があります。近年では、アメリカの高校で行なわれているサービスマーケティング(学外奉仕活動)を参考に、生徒が地域社会の一員として、英語力を生かしながら社会勉強を実施しています。

Q11 修学旅行はありますか。

A. 学院行事ではありませんが、12年生は毎年4月生徒主催のフロリダ旅行があります。

Q12 クラブ活動とは別にピアノなどのレッスンなどの個人指導は受けられるのでしょうか？

A. 個人的に家庭教師や楽器の指導をしてくださる方をアレンジするのは可能ですが、学院の施設を使う場合は学院に登録する必要があります。

Q13 在学中に両親が日本に帰国することになった場合、日本の慶應義塾一貫教育校に編入できますか？

A. 慶應義塾一貫教育校への編入制度はありません。ご両親が帰国される場合には、生徒は寮に滞在できます。

★ 寮生活・通学について

Q14 寮には必ず入らなくてはならないのでしょうか？

A. 全寮制ではありませんので通学も可能です。自宅通学が困難な生徒を対象に、寮を併設しており、現在全校生徒の約9割が寮を利用しています。

Q15 近隣に住んでいますが、入寮を申し込むことは出来ますか。

A. 入寮許可については、保護者が通学が困難な地域に住んでいる生徒を優先して決定いたしますので、学院周辺にお住まいの方で、学院が通学可能と判断した場合は、原則として入寮をお断りすることになりますのでご了承下さい。

Q16 寮は何人部屋ですか？

A. 寮は2人部屋です。

Q17 寮で同室になる人はどのように決めているのですか？

A. 新入生は学院側で決めます。在学生の場合は生徒に提出していただくルームメイト希望書をもとに学院側が決めます。

Q18 寮生活では外出は許可されますか？

A. 平日の外出は特別な許可があれば認められます。また週末の日中は、ホワイトプレインズやハリソンなど学院で定められた地域であれば引率者なしで出かけることができます。11・12年生は事前に保護者の許可を受けた上で引率者なしでマンハッタンに行くことができます。他に学院では、スキー教室・美術館や博物館での課外授業・芸術鑑賞・買い物等を行っています。

Q19 寮ではどのようなスタッフがケアしているのですか？

A. 各フロアに寮監が1名(夫婦の場合もあります)。
ヘルスセンターは平日は7:30～22:30、土日は12:00～19:00 まで開室しています。

Q20 寮では身の回りのこと(クリーニング・部屋の掃除)はどうなるのでしょうか？自分たちでするのでしょうか？

A. 各自の部屋の掃除は本人、また、廊下やシャワールーム等共有する場所は専門のクリーナーが掃除します。洗濯は生徒が使用できるコインランドリー(洗濯機・乾燥機)が寮内にあります。週末、近辺のドライクリーニング店を利用することもできます。

Q21 通学生はどのように通学しているのでしょうか？

A. 規程により、学院専用のスクールバスもしくは地域スクールバスで通学しています。学院専用のスクールバスは、2011年度はCos Cob, Greenwich, Old Greenwich, Riverside, Rye, Rye Brookの地域で運行しています。(運行地域等は変更になる可能性がありますので、詳細は学院事務室までお問い合わせ下さい。)

Q22 自動車通学は可能でしょうか。

A. 申請書を提出いただき、許可が下りれば可能です。

★ 卒業後の進路について

Q23 卒業資格について教えてください。

A. 学院は在外教育施設として日本の文部科学省の指定校であると共に、米国ニューヨーク州教育評議委員会から教育法人としての認可を受けているので、卒業後は日本・米国両方の高校の卒業資格が得られます。つまり、卒業後は日本・米国どちらの大学にも進学可能です。

Q24 卒業後は慶應義塾大学に進学できるのでしょうか？

A. 学院の卒業生は学院長の推薦のもと、慶應義塾大学に進学することができます。

Q25 慶應義塾大学に進学した場合は、希望の学部に進学することができるのでしょうか？

A. 学部の選択は自由ですが、決定にあたっては成績等により判定されます。

Q26 卒業後の主な進路はどのようになっていますか？

A. 資料4をご参照ください。

Q27 慶應義塾大学に進学する場合、6月に卒業した後、9月入学出来る学部はどの学部ですか。

A. 慶應義塾大学では法学部、総合政策学部、環境情報学部の3学部で9月入学を実施しています。

★ 出願資格について(一般入試・AO入試共通)

第9学年に出願できる者は、学院に入学を志願する前年の12月末日現在、日本国内または日本国外の学校(日本人学校を含む)で学校教育の8年目の課程に在籍し、学院に入学を志願する年の8月末日までに同課程を修了していること。

* 8年目の課程とは、日本の中学2年生の課程に相当します。

第10学年に出願できる者は、学院に入学を志願する前年の12月末日現在、日本国内または日本国外の学校(日本人学校を含む)で学校教育の9年目または10年目の課程に在籍し、学院に入学を志願する年の8月末日までに同課程を修了していること。

* 9年目の課程とは、日本の中学3年生の課程に相当します。

1 居住地について

Q28 居住地はアメリカ国内である必要はありますか？

A. いいえ、居住地は問いません。

Q29 現在は日本在住ですが、受験はできるのでしょうか。

A. はい、できます。

Q30 入学者はどのような国から受験していますか？

A. 入学者は世界30カ国から来ています。過去数年の入学者の出身国は以下のとおりです。オーストラリア、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、韓国、マレーシア、メキシコ、中国、英国、キューバ、フィリピン、ベネズエラ、南アフリカ共和国、タイ、ニュージーランド、ルクセンブルク、インドネシア、ロシア、米国、日本、ロシア、ルーマニア、ウクライナ、パキスタン、インド、スイス、デンマーク、チェコ、スペイン、シンガポール、アルゼンチン、グアテマラ、トルコ、アラブ首長国連邦、ケニア

2 居住形態

Q31 両親そろって国外に居住していなければいけないのでしょうか？

A. いいえ、受験生の居住形態は問いません。受験生が単身で海外留学などをしていても出願資格はあります。また居住地も問わないため受験生が両親と同居せずに日本の学校に通学している場合も出願資格はあります。

3 居住地の学校

Q32 インターナショナルスクールに通っていますが、出願資格になりますか？

A. 所定の学年を修了(または修了見込み)すれば出願できます。

Q33 日本人学校の出身は出願資格になるのでしょうか？

A. 所定の学年を修了(または修了見込み)すれば出願できます。

Q34 日本の文部科学省で認定されている私立在外教育施設に在籍していますが、出願資格になりますか？

A. 所定の学年を修了(または修了見込み)すれば出願できます。

Q35 11年生以上の学年からの編入や学期の中途での編入の機会はありませんか？

A. ありません。

4 再受験について

Q36 今年第9学年を受験して不合格だったので、別の学校に入学して、来年第10学年を受験したいのですが受験できますか？

A. 別の学校で第9学年を修了見込みまたは修了していれば受験できます。

Q37 一度AO入試または一般入試を不合格となった場合、同じ年の再受験はできますか。

A. 募集要項の受験資格を満たしている限り受験できます。2回のAO入試、1回の一般入試、最大で3回受験できることとなります。

Q38 保証人、紹介者は必要ですか？

A. 入学試験を受験される時点では紹介者などは一切必要ありません。

★入学試験について

入学試験には一般入試とAO入試があります。詳しくは資料5 をご参照ください。

	募集人数	時期と回数	選抜方法
一般入試	一般、AO入試あわせて各学年60名	年に1回：3月に試験	国語・英語・数学の筆記試験・面接
AO入試	一般、AO入試あわせて各学年60名	年に2回：(秋季・春季)12月と6月に試験	書類選考・英語及び日本語の小論文・面接

<一般入試について>

Q39 一般入試の選考はどのように行われていますか？

A. 入学試験時に行われる筆記試験(国語、英語、数学)と面接の他、提出された書類(成績、推薦状等)を加えた総合評価で決定されます。

Q40 偏差値はいくつでしょうか？

A. 学院の筆記試験は国語、英語、数学の試験、面接や提出書類を加えた総合評価をいたしますので、日本の学校の基準である偏差値はありません。

Q41 合格最低点などの基準はありますか？

A. いわゆる「足きり」のような合格最低点などの基準はありません。

Q42 過去の問題集を入手したいのですが？

A. 学院ホームページでダウンロードできます。

Q43 どの程度の英語能力が要求されますか？

A. 英語での日常会話が可能であること。授業の70パーセントが英語で行われますので、英検2級または同等のレベルを取得していただく事をお勧め致します。

Q44 英検およびTOEFL・TOEICのどの位のグレードならよろしいでしょうか。

A. 英検2級または同等レベルを取得していることをお勧めいたします。卒業時までTOEFL550点以上を目標としてください。

Q45 英語の試験は英和辞典の持ち込みはいけないのでしょうか？

A. 筆記試験に参考書や辞典の持ち込みは一切禁止しています。

Q46 日本から受験したいのですが、日本からは何名くらい入学を許可する予定ですか？

A. 国別の入学者枠は設けていません。

Q47 日本からの出願者の試験問題は別にあるのですか？

A. 日本から受験される志願者も海外から受験される志願者も試験の内容は同じです。

Q48 日本の英語教育で得られる程度の英語力でも入試の問題には対応できるのですか？帰国生でもなく英語の特別な教育を受けたわけでもないごくふつうの中学の英語教育しか受けておりませんが、入学は可能でしょうか？

A. 2000年度入試で受験資格の規程を一部変更し、日本に居住されている生徒も入学試験を受験できるようになりました。その結果、2000年度新入生より日本の学校又は海外の日本人学校に在籍していた生徒(日本の教育を受けていた生徒)もおります。日本の教育を受けている生徒でも、合格の可能性は十分ありますので、入学試験だけではなく入学後の学校生活に備えての英語力を身につける努力をしてください。詳しくはQ59の入試状況をご参照下さい。

<AO入試について>

Q49 どのような生徒が対象となるのですか？

A. AO入試では単に一面的に学業だけで志願者の資質を判断するのではなく、志願者個々人の優れた才能や能力で多面的に判断して選考します。例えば、芸術やスポーツで顕著な成績をあげている、あるいはボランティア活動に熱心に参加してきたなど学院での学生生活を活性化できる才能を求めています。

Q50 AO入試の自己PRのポイントは何か？

A. AO入試は書類選考がありますので自己アピールの資料が重要です。AO入試は学院が基準を設定する訳ではなく、受験生自身が「この様な基準で受験したい」と自己アピールする試験です。ご自身が得意なこと、努力してきたことなど、積極的に日本語と英語とでアピールしてください。

Q51 AO入試の英語、日本語の小論文の時間配分を教えてください。

A. 各60分です。

Q52 AO入試筆記試験の過去の試験問題を入手したいのですが？

A. 学院ホームページでダウンロードできます。

<一般入試・AO入試共通事項について>

Q53 試験会場はどこですか？

A. AO入試の2次選考については、学院のほかに東京(慶應義塾大学三田キャンパス)でも行います。一般入試については、学院だけで行われます。

Q54 日本で一般入試が実施される予定はないのでしょうか？

A. 検討中です。

Q55 面接はどのようにして行われますか？

A. 以下の3種類の面接を実施しています。(各10~15分程度)

- ①志願者と英語での面接
- ②志願者と日本語での面接
- ③志願者及び志願者の親権者との面接

Q56 仕事の都合で父親が面接に行かれないのですが、認められますか？

A. 面接で両親がそろっていないなくても、試験の可否には影響はありません。

Q57 面接はどのような服装で臨むべきでしょうか？

A. 面接に適した服装でお願いいたします。

Q58 面接ではどのようなことが質問されるのでしょうか？

A. 面接は本人の特性・将来性を理解するために実施しているので、その目的に沿った質問をします。

Q59 入試倍率はどのくらいですか？また、日本からの受験者はどのくらいいるのでしょうか？

<2010年度/2011年度入試状況>

	学年	募集数 (A)	年度	出願者数 (B)	日本	受験者数 (C)	日本	合格者数 (D)	日本	合格手続数 (E)	日本	競争率 (C/D)
一般入試	第9学年		2010	22 (8)	10	21 (8)	10	15 (6)	7	15 (6)	7	1.4
			2011	13 (5)	4	13 (5)	4	10 (4)	2	10 (4)	2	1.3
	第10学年		2010	41 (14)	27	36 (12)	23	29 (12)	16	29 (12)	16	1.2
			2011	24 (4)	17	21 (3)	15	18 (3)	14	18 (3)	14	1.2
秋季AO入試	第9学年	一般入試 AO入試 あわせて 各学年 60名	2010	21 (7)	11	21 (7)	11	10 (4)	5	10 (4)	5	2.1
			2011	17 (5)	7	17 (5)	7	12 (4)	3	12 (4)	3	1.4
	第10学年		2010	48 (24)	34	48 (24)	34	29 (17)	18	29 (17)	18	1.7
			2011	24 (9)	15	24 (9)	15	20 (9)	11	20 (9)	11	1.2
春季AO入試	第9学年		2010	7 (1)	3	7 (1)	3	6 (1)	2	6 (1)	2	1.2
			2011	14 (8)	10	14 (8)	10	10 (6)	7	9 (5)	7	1.4
	第10学年		2010	18 (11)	12	18 (11)	12	12 (7)	7	12 (7)	7	1.5
			2011	17 (10)	9	17 (10)	9	14 (9)	7	14 (9)	7	1.2

* ()は女子で内数

* 日本の欄は日本からの受験生で内数

★ 出願書類について

<一般入試・AO入試共通>

Q60 英検2級を取得していないと合格できないのでしょうか？

- A. 本校の授業は約70パーセントが英語で行われますので、英語力をつけておいていただきたいという趣旨で英検2級または同等レベルを取得していることをお勧めしていますが、2級を取得していないと合格しないということはありません。合否判定は総合的な評価に基づいて行われます。

Q61 2009年度から英検2級以上の取得が受験資格となるのでしょうか？

- A. 学院説明会等でその予定であるということをお伝えしていましたが、検討の結果、入学当初は英語が苦手でも、学年が進むにつれて好成绩を収める生徒も多数いることから、英検2級取得を受験資格とすることはしないことに決定しました。

Q62 出願の時期には日本に親類がないので、日本の学校の成績証明書は事前に取得しておいてもよいのでしょうか？

- A. 所定用紙の場合は、入試年度のものをご使用下さい。

Q63 成績証明書のかわりに通知表のコピーを提出してもよろしいですか。

- A. 通知表のコピーは受付けることが出来ません。必ず学校で厳封されたものをご提出下さい。

Q64 「推薦状は所定用紙で提出」となっていますが、所定の用紙が変更になったとしても、赴任する時点での所定用紙で認められるのでしょうか。

- A. 所定用紙は出願する年度のものを使用してください。

Q65 学校の成績が絶対評価で決まるため、評価書の「成績順位」「上位何%」の欄に記入できません。どうしたらよいでしょうか。

- A. 「成績順位」「上位何%」については、学力を総合的に判断するために記入をお願いします。ただし、どうしても記入が難しい項目がある場合は、その旨を評価書に明記していただき、「所見」についてはできる限り詳しく記入していただけるよう、学校側に依頼してください。

Q66 調査書、内申書の参考度はどのくらいですか？

- A. 一般入試では、成績表等の書類、筆記試験と面接の結果を含む総合評価をもとに選考を行います。そのため成績表上で取得していなければいけない最低限レベルなどは設定していません。AO入試では、第一次選考で書類審査を、そして第一次選考合格者のみに第2次選考(筆記及び面接)を行います。

Q67 出願書類はどのように送ったらよいのでしょうか？

- A. 必ず郵便局のEMS(Express Mail) または DHLやFedEx等のクーリエ便など、学院側が書類を受理したことを確認できる方法で発送してください。ニューヨーク在住の場合でもニューヨークの郵便局からExpress Mailでお送りください。

Q68 送った書類がニューヨーク学院で受理されたかはどのように確認すればよいですか？

- A. EMSやクーリエ便でお送りいただいた書類のTracking Number(追跡番号)を元に郵便局やDHL等のウェブサイトにて書類追跡及び受理の確認を取ることができます。直接学院にお問い合わせいただいても1日で受理する書類が数多くあるため即答することができません。学院からは、受領時の確認連絡はいたしておりませんので、各自で以上の方法で確認を取られる事をお勧めいたします。なお、選考書類に不備がある場合、またはすべての必要書類受理が確認された場合、入試担当よりEメールにて連絡させていただきます。

Q69 10年生を受験したいのですが、高校に入学したばかりで、推薦状を書いてもらうのが難しいのですが、また、成績証明書は必要でしょうか？

- A. やむを得ない事情がある場合には学院事務室にご相談ください。成績証明書については、指定している学年分のものが必要となります。

Q70 選考料はどのように送ればよいのでしょうか？

- A. 銀行で「小切手(サーティファイド・チェック)」、「銀行振出小切手(バンク・チェック)」または郵便局で「国際郵便小切手(インターナショナル・ポスタル・マネーオーダー)」を選考料の金額を額面として作成してください。小さな支店や支局の窓口では、取り扱いができない場合もあります。その場合には本店や本局など国際送金を取り扱う窓口をご利用ください。作成した小切手は出願書類に同封してください。日本からの出願の場合、国際郵便小切手であれば、郵便局で作成し、そのまま出願書類と一緒にEMS(国際スピード郵便)で発送することができます。なお、国際郵便小切手作成時には、日本人の場合免許証か健康保険証、外国人の場合外国人登録証が必要になります。また小切手1枚あたりの上限金額は\$700、1日の作成の上限は\$69,300(金額は為替により変動あり)です。

Q71 新入生対象の奨学金はあるのでしょうか。

- A. あります。出願時に受け付ける「授業料減免に関する奨学制度」を新設いたしました。詳細は2011年度各募集要項一式に含まれています。

*** 学院からのお願い**

・ここ数年、出願書類提出期日間際に書類を発送する方が増えています。もし書類不備が確認されますと、指摘された書類を期日内に学院に提出できない可能性が生じます。期日までに出席に必要な書類を学院が受理しない限り、その出願者に対する選考は行いませんのであらかじめご注意ください。

★ 学費について

Q72 年間の学費を教えてください。

A. 2011年度実績

	項 目	寮 生	通学生
1	入学金	\$3,700	
2	授業料	\$23,300	
3	寮費	\$13,000	
4	昼食費		\$2,350
*5	スクールバス費		\$6,500
6	教材等預り金(一般)(生徒医療保険料込み)	\$2,000	
7	電話使用料預り金	\$500	
8	施設設備費	\$1,250	
9	Parent's Association 会費	\$70	

<参考>

10	プリエントリー・プログラム費	\$1,000	
11	選考料	\$500	

*5 地域スクールバスで通学できる場合は不要

<初年度年間学費>

寮生合計 (1~3、6~9) \$43,820

通学生(学院専用スクールバス利用の場合)

合計 (1・2・4・5・6・8・9) \$39,170

通学生(地域スクールバス利用の場合)合計(1・2・4・6・8・9) \$32,670

★ その他

Q73 9月に学院に入学するまでの期間、日本において英語等のプログラムはありますか。また個人的にはどのように過ごせば良いでしょうか。アドバイスがあれば教えてください。

- A. 第10学年入学予定者の方は入学にあたり語学能力の上達やアメリカのボーディングスクールの生活の経験を希望される場合、合格後学院カウンセラーにご相談ください。適切な英語の勉強方法などを紹介させていただきます。また、ビザの関係上、プリエントリー一前に語学研修などのために米国の学校に入ることはしないで下さい。なお、第9学年に入学予定の方は義務教育期間中となりますので、公立中学校などの学校に在籍する必要があります。また、第10学年に入学予定の方で飛び級をしている場合は、学院入学までの期間の過ごし方について居住地域の教育機関にご相談ください。

Q74 アメリカでの留学は、ビザが必要と聞きました。学院に入学する場合、日本の学校なので、ビザは必要ありませんか？

- A. 学院は、アメリカ合衆国にある認可の学校です。従って、アメリカ国籍や永住権を持っていない入学予定者は、入学決定次第、最寄りのアメリカ大使館や領事館で学生ビザ(F-1)を取得する必要があります。現在、保護者と一緒にアメリカに滞在している入学予定者は、ビザの変更なく合法的に学院に入学することができます。

Q75 実際に学校の様子を見学したいのですが、見学会などはありますか？また個別の見学は受け付けていますか？

- A. 11月に行われるオープンハウス、4月の祥風祭(文化祭)はご参加いただけます。詳しくは学院ウェブサイトをご覧ください。また希望者には見学を受け付けています。グループ案内になることもあります。見学申込書にご記入の上、希望日の1週間前までにE-mailにてお送り下さい。(E-mail: keiony@keio.edu) 見学申込書はwww.keio.eduからダウンロードすることが出来ます。日本の春休み、夏休み期間中にかけては、混雑して予約が取れない場合がありますのでご了承下さい。

以上

<<最新の情報、詳細については学院ウェブサイトをご覧ください。>>
<http://www.keio.edu>

お問い合わせ先:

<米国>慶應義塾ニューヨーク学院(高等部)事務室 教務入試担当
TEL: 914-694-4825 FAX: 914-694-4830 E-mail: keiony@keio.edu

資料請求先:

<米国>慶應義塾ニューヨーク学院(高等部)事務室 教務入試担当
TEL: 914-694-4825 FAX: 914-694-4830 E-mail: keiony@keio.edu

<日本>慶應義塾 一貫教育支援センター
TEL: 03-5427-1711 FAX: 03-5427-1748

SUBJECT	教科	LANGUAGE 授業言語	9 th			10 th			11 th				12 th			
			R.	R.E.	A.	R.	R.E.	A.	R.	R.E.	A.	E.	R.	R.E.	E.	

MUSIC - ART 音楽・美術

Fine Art 9,10,11,12	美術9, 10, 11, 12	E	1				2**			2**							1)2
Music 9	音楽9	E/J	1														
Music 10 (Band)	音楽10(バンド)	E					2**										
Music 10 (Chorus)	音楽10(コーラス)	J															
Music 11 (Band)	音楽11(バンド)	E								2**							
Music 11 (Chorus)	音楽11(コーラス)	J															
Music 12 (Band)	音楽12(バンド)	E															1)2
Music 12 (Chorus)	音楽12(コーラス)	J															1)2

FOREIGN LANGUAGE 外国語

Spanish I (Elem.)	スペイン語(初級)	E											4				1)4
Spanish II (Inter)	スペイン語(中級)	E											4				1)4
Chinese I (Elem.)	中国語(初級)	E											4				1)4
Chinese II (Inter)	中国語(中級)	E											4				1)4

SUBJECT	教科	LANGUAGE 授業言語	9 th			10 th			11 th				12 th				
			R.	R.E.	A.	R.	R.E.	A.	R.	R.E.	A.	E.	R.	R.E.	E.		
														1)21	4		6-9
			30	0	2-4	28	2	2-4	27	2	0-4	4-5		2)17	15		0
			32-34			32-34			33-34				1)31-34 2)34				

Note:

R. = Required (必修科目)

R.E. = Required Elective (必修選択科目)

E. = Elective (選択科目)

A. = Assigned (指定科目)

"One (1) Credit" = 45 minute period per week for 35 weeks (45分/週、35週間)

* = Students will be assigned. 1) Non-Science Major (文系) 2) Science Major (理系)

**=Elect either Fine Art, Band or Chorus.

資料2

■ 成績評価

評価は A B C D F P で表わす。Fは不合格である。評価の決め方は、下記の表を参照とする。

A+	98 -100	C+	77 - 79	F	0 - 59
A	94 - 97	C	73 - 76	P	Pass
A-	90 - 93	C-	70 - 72		
B+	87 - 89	D+	67 - 69		
B	83 - 86	D	63 - 66		
B-	80 - 82	D-	60 - 62		

■ GPA (学業平均値)

GPA は、履修したすべての科目の評価に基づき、次のように計算される。

$$GPA = (G1R1 + G2R2 + G3R3 + \dots) \div T$$

G : 各科目の成績から換算される得点 (下の表を参照)

R : 各科目のクレジット

T : 履修した総クレジット数

ただし、

Pass /Fail 科目 : G (各科目の成績から換算される得点) は常に0であるが、Pass の場合には、T (履修した総クレジット数) からその科目のクレジットを引いて、また、Fail の場合には、T に含めて計算する。

Course level / Grade symbol	Elementary	Intermediate/ Normal	Advance/Honors (AP)
A+	3.50	4.00	4.50
A	3.25	3.75	4.25
A-	3.00	3.50	4.00
B+	2.75	3.25	3.75
B	2.50	3.00	3.50
B-	2.25	2.75	3.25
C+	2.00	2.50	3.00
C	1.75	2.25	2.75
C-	1.50	2.00	2.50
D+	1.25	1.75	2.25
D	1.00	1.50	2.00
D-	0.75	1.25	1.75
F	0	0	0
S*	0	0	0
I*	NC	NC	NC

S = Summer Make-Up Credits: GPA への換算は0点として計算。ただし、単位は取得したものとする。

I = Incomplete: 学院が定めた期間内に単位を取得できなければ Fになる。

Interscholastic Programs by Season

Fall

Boys

Varsity Cross Country
Varsity Soccer
Junior Varsity Soccer

Girls

Varsity Cross Country
Varsity Swimming
Varsity Tennis
Junior Varsity Tennis
Varsity Volleyball
Junior Varsity Volleyball

Winter

Boys

Varsity Basketball
Junior Varsity Basketball
Varsity Swimming
Ski and Snowboard

Girls

Varsity Basketball
Junior Varsity Basketball
Ski and Snowboard

Spring

Boys

Varsity Baseball
Varsity Golf
Varsity Rugby
Varsity Tennis
Junior Varsity Tennis
Coed Varsity Golf

Girls

Varsity Lacrosse
Varsity Soccer
Varsity Softball

Club Programs

Co-ed Judo (year round)
Co-ed Karate (year round)
Co-ed Kendo (year round)

資料4 ニューヨーク学院卒業生進路状況

卒業		2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	
大学・学部・学科							
慶 應 義 塾 大 学	文学部	9 (6)	10 (3)	2 (1)	10 (7)	2 (1)	
	経済学部	30 (11)	30 (10)	29 (4)	30 (9)	21 (7)	
	法学部	法律学科	10 (5)	10 (4)	10 (3)	10 (5)	10 (4)
		政治学科	10 (2)	10 (7)	10 (7)	10 (6)	10 (4)
	商学部	14 (4)	15 (8)	14 (3)	15 (7)	15 (4)	
	医学部	2 (2)	1 -	2 (2)	2 -	2 -	
	理工学部	7 (3)	5 (1)	4 (2)	2 -	5 -	
	総合政策学部	5 (1)	11 (5)	1 -	10 (3)	0 -	
	環境情報学部	8 (2)	13 (2)	9 (3)	9 (3)	8 (3)	
	看護医療学部	2 (2)	0 -	1 (1)	0 -	3 (3)	
	薬学部薬科学科	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	
	薬学部薬学科	0 -	2 (1)	1 (1)	1 (1)	1 -	
計	97 (38)	107 (41)	83 (27)	99 (41)	77 (26)		
(推薦辞退者)		1 -	0 -	1 -	2 (1)	0 -	
Art Institute of Chicago							
Brown University,USA							
College of Mexico,Mexico							
Vocational School,USA							
New York University,USA							
Pratt Institute							
State University of New York,Geneseo							
Soka University of America							
The University of St. Andrews,UK							
Other							
卒業生数計		98 (38)	107 (41)	84 (27)	101 (42)	77 (26)	

注)

1. 卒業月は6月、()内は女子で内数。
2. 総合政策学部, 環境情報学部の2学部は卒業した年の9月入学。その他は、翌年4月。
ただし、2009年卒業生から法学部の9月入学も認めている(法学部は9月または4月入学)
3. 薬学部は2008年4月開設。(2007年卒業生より入学)

募集人数 AO 入試(秋季・春季)と一般入試 あわせて

第9 学年(中学3年)、第10 学年(高校1 年)各学年 約60 名

<一般入試>

募集学年:第9 学年(中学3年)、第10 学年(高校1 年)

出願期間:2011 年12 月1 日(木)~2012 年1 月27 日(金)(必着)郵送のみ受付

試験日:2012 年2 月25 日(土)(筆記試験)

2 月26 日(日)、2 月27 日(月)(面接 半日指定)

ウェブ合否発表:2012 年3 月2 日(金)

合格発表発送日:2012 年3 月9 日(金)

要項配布:2011 年10 月下旬予定

選抜方法:筆記試験(英語・国語・数学)

面接=本人(英語と日本語)ならびに本人および保護者(親権者)

<AO 入試>秋と春の2 回実施されます。

・ 秋季AO入試

募集学年:第9 学年(中学3年)、第10 学年(高校1 年)

出願期間:2011 年9 月1 日(木)~2011 年9 月23 日(金)(必着)郵送のみ受付

1 次結果通知発送日:2011 年10 月21 日(金)

試験日:2011 年12 月3 日(土)・4 日(日)<2 次選考>

ウェブ合否発表:2011 年12 月8 日(木)

合否通知発送日:2011 年12 月15 日(木)

要項配布:2011 年7 月下旬予定

・ 春季AO入試

募集人数:第9 学年(中学3年)、第10 学年(高校1 年)

出願期間:2012 年3 月12 日(月)~2012 年4 月16 日(月)(必着)郵送のみ受付

1 次結果通知発送日:2012 年5 月11 日(金)

試験日:2012 年6 月16 日(土)・17 日(日)<2 次選考>

ウェブ合否発表:2012 年6 月21 日(木)

合否通知発送日:2012 年6 月22 日(金)

要項配布:2012 年2 月下旬予定

選抜方法:1 次選考 =書類選考

2 次選考 =英語および日本語の小論文

面接 =本人(英語と日本語)ならびに本人および保護者(親権者)

<出願資格> 一般・AO 共通

学院に入学を志願する前年の12 月末日現在、日本国内または日本国外の学校(日本人学校を含む)で学校教育の下記の課程に在籍し、学院に入学を志願する年の8 月末日までに同課程を修了していること。

第9 学年への出願:学校教育の8 年目の課程に在籍

第10 学年への出願:学校教育の9 年目または10 年目の課程に在籍